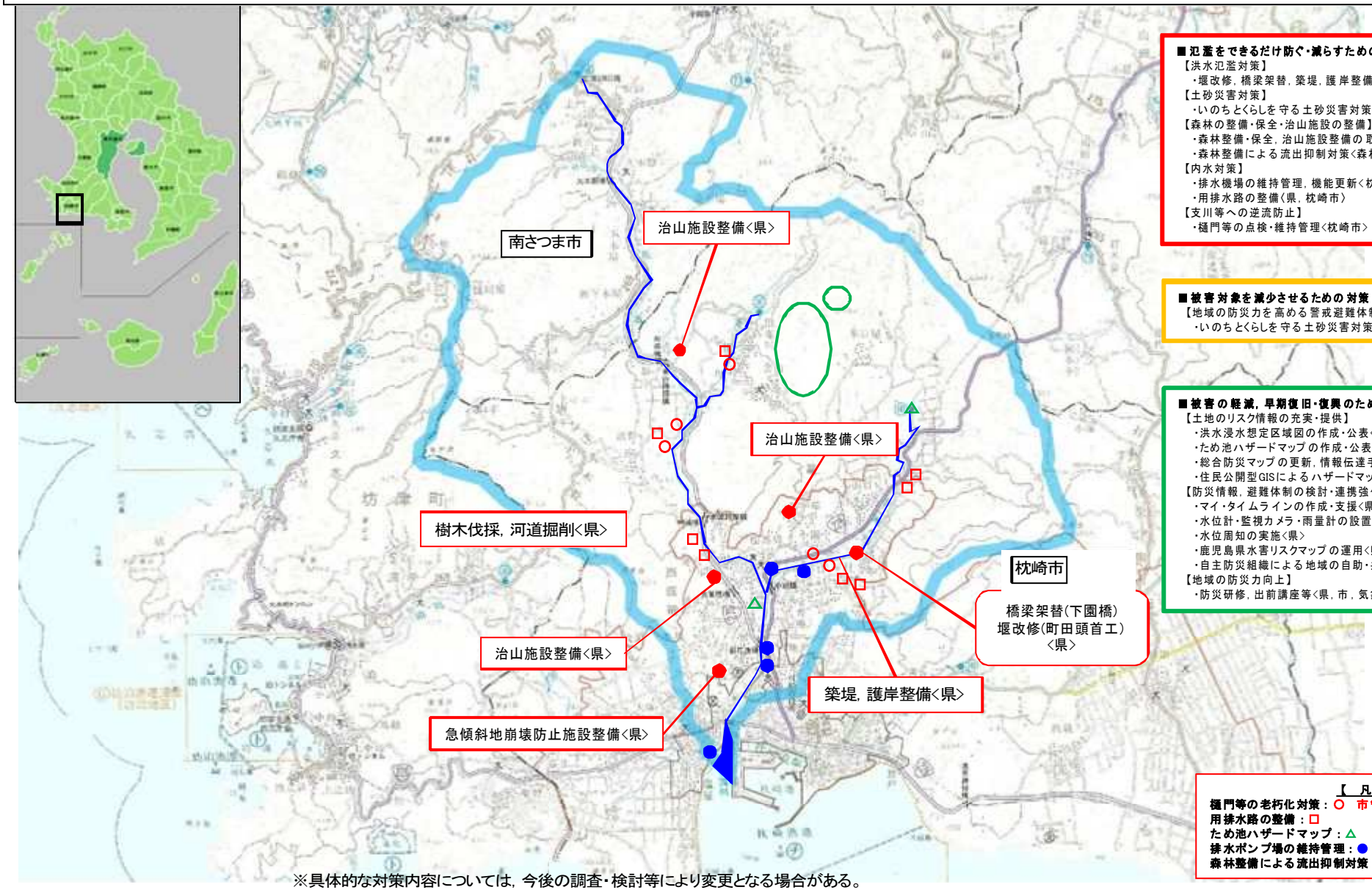
花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○令和元年東日本台風では，戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ，花渡川水系においても，事前防災対策を進める必要があることから，以下の取り組みを実施していくことで，県管理区間においては，年超過確率1／10の規模の洪水を安全に流し，流域における浸水被害の軽減を図る。



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【洪水氾濫対策】
・堰改修，橋梁架替，築堤，護岸整備，河道掘削，樹木伐採等<県>

【土砂災害対策】
・いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進(ハード対策)<県>

【森林の整備・保全・治山施設の整備】
・森林整備・保全，治山施設整備の取組<県，南さつま市，枕崎市等>
・森林整備による流出抑制対策<森林研究・整備機構>

【内水対策】
・排水機場の維持管理，機能更新<枕崎市>
・用排水路の整備(県，枕崎市)

【支川等への逆流防止】
・樋門等の点検・維持管理<枕崎市>

■被害対象を減少させるための対策

【地域の防災力を高める警戒避難体制の強化】
・いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進(ソフト対策)<県>

■被害の軽減，早期復旧・復興のための対策

【土地のリスク情報の充実・提供】
・洪水浸水想定区域図の作成・公表<県>
・ため池ハザードマップの作成・公表<枕崎市>
・総合防災マップの更新，情報伝達手段の多重化への取組み<枕崎市>
・住民公開型GISによるハザードマップの公開<南さつま市>

【防災情報，避難体制の検討・連携強化】
・マイ・タイムラインの作成・支援<県，市，気象庁>
・水位計・監視カメラ・雨量計の設置，防災情報の提供<県，気象庁>
・水位周知の実施<県>
・鹿児島県水害リスクマップの運用<県>
・自主防災組織による地域の自助・共助の推進<枕崎市>

【地域の防災力向上】
・防災研修，出前講座等<県，市，気象庁>

【凡例】
樋門等の老朽化対策：○ 市管理
用排水路の整備：□
ため池ハザードマップ：△
排水ポンプ場の維持管理：●
森林整備による流出抑制対策(水源林造成事業地)：

※具体的な対策内容については，今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

花渡川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

〇花渡川水系では，流域全体を俯瞰し，県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって，以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短　期】流下能力不足解消のため，水位低下を目的とした町田頭首工改修，下園橋架替，築堤，護岸整備，河道掘削等を主に実施。
土砂災害による流下能力不足防止を目的とした砂防堰堤・急傾斜地崩壊防止設備整備を必要に応じて整備。
土砂災害による流下能力不足防止を目的とした森林の整備・保全，治山施設の整備を実施。
浸水被害を解消するため，内水排除を目的とした排水機場の維持管理・機能更新
支川等への逆流防止を目的とした樋門等の点検・維持管理を実施。
土地のリスク情報の充実・提供，防災情報，避難体制の検討・連携強化，地域の防災力向上など，流域内の被害軽減を目指す。

【中　期】流下能力不足解消のため，水位低下を目的とした河道掘削を主に実施。

【中長期】流下能力不足解消のため，水位低下を目的とした河道掘削を主に実施。

区分	対策内容	事業主体	工程		
			短　期	中　期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策（頭首工改修，橋梁架替，築堤，護岸整備，河道掘削，樹木伐採等）	鹿児島県	町田頭首工改修，下園橋架替，築堤，護岸整備，河道掘削，樹木伐採　等		
	土砂災害対策（ハード対策）	鹿児島県	必要に応じて土砂災害対策を実施		
	森林の整備・保全・治山施設の整備	鹿児島県，市，森林研究整備機構等	森林整備，治山施設整備による土砂流出抑制対策		
	内水対策	鹿児島県，枕崎市	排水機場の維持管理・機能更新，用排水路の整備　等		
	支流等への逆流防止	枕崎市	樋門等の点検。維持管理		
被害対象を減少させるための対策	土砂災害対策（ソフト対策）	鹿児島県	土砂災害警戒区域等の指定　等		
被害の軽減，早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実・提供	鹿児島県，　市	洪水浸水想定区域図の作成・公表，ため池ハザードマップの作成・公表　等		
	防災情報，避難体制の検討・連携強化	鹿児島県，市，気象庁	マイタイムラインの作成・支援，水位計・監視カメラ・雨量計の設置，防災情報の提供　等		
	地域の防災力向上	鹿児島県，枕崎市，気象庁	自主防災組織による地域の自助・共助の推進，出前講座　等		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

花渡川水系流域治水プロジェクト

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

河川整備箇所【鹿児島県】

〇洪水氾濫対策として，中洲川中流域では護岸整備，築堤，堰の改修及び橋梁架替を進めていく。また，花渡川水系の樹木繁茂や土砂堆積の流下阻害等で洪水氾濫による被害が生じるおそれのある箇所について，樹木伐採や河道掘削を実施する。

中洲川
・ 整備内容：護岸，築堤，堰改修，橋梁架替

■ 対策状況(護岸)

■ 対策状況(町田頭首工)

花渡川水系
・ 整備内容：樹木伐採，河道掘削

■ 金山川(実施前)

■ 金山川(実施後)

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	護岸整備，築堤，堰改修，橋梁架替等	鹿児島県	➡	➡	➡
		河道掘削，樹木伐採	鹿児島県	➡	➡	➡

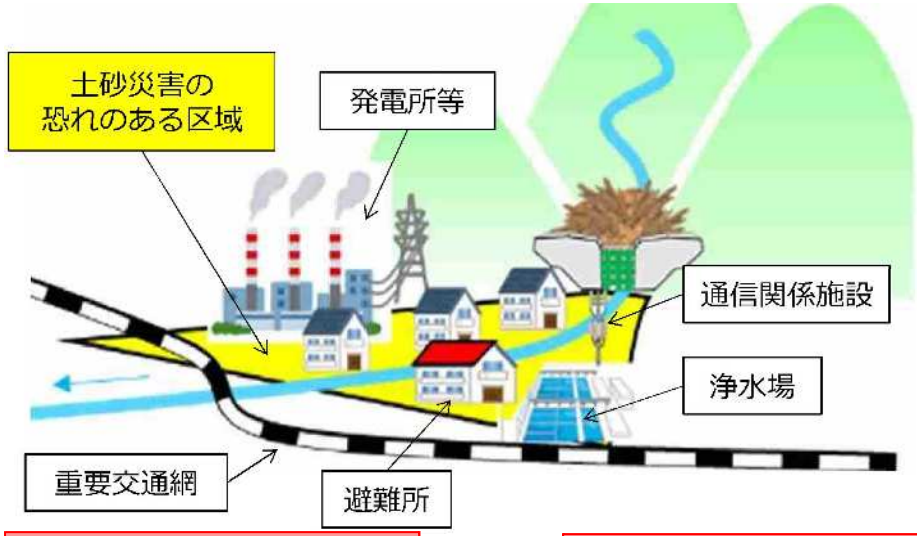
花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ハード対策）【鹿児島県】

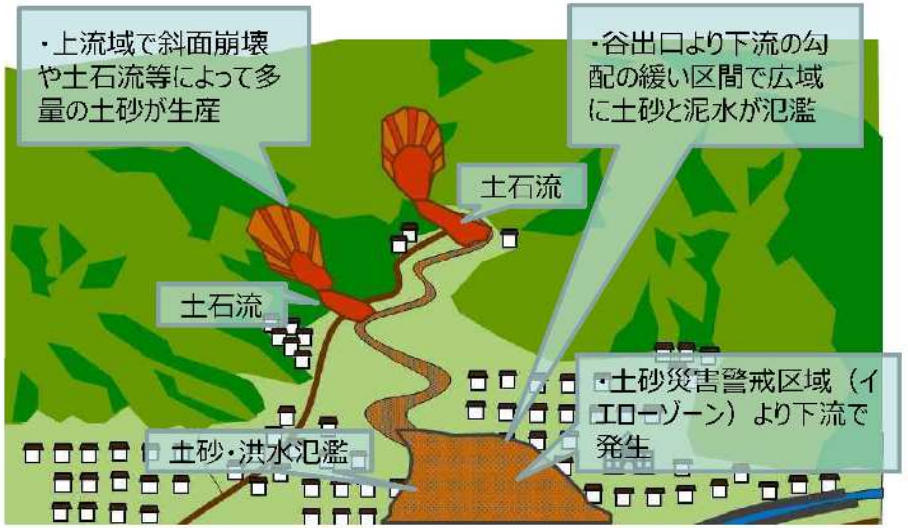
○社会・活動を支える地域の基礎的なインフラの集中保全

・ハード施設により確実に「いのち」を守ることに加え、物流ネットワークや電力、水道、通信、学校、病院など「くらし」に直結する基礎的なインフラを集中的に保全



○土砂・洪水氾濫対策の推進

・上流域から流出した多量の土砂が谷出口より下流の河道に堆積し，河床上昇・河道埋塞により引き起こされる土砂，泥水及び流木の氾濫発生を防止



砂防事業
南薩局管内事例（南さつま市三本松川）

急傾斜地崩壊対策事業
南薩局管内事例（南さつま市平之馬場）

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県	➡	➡	➡

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

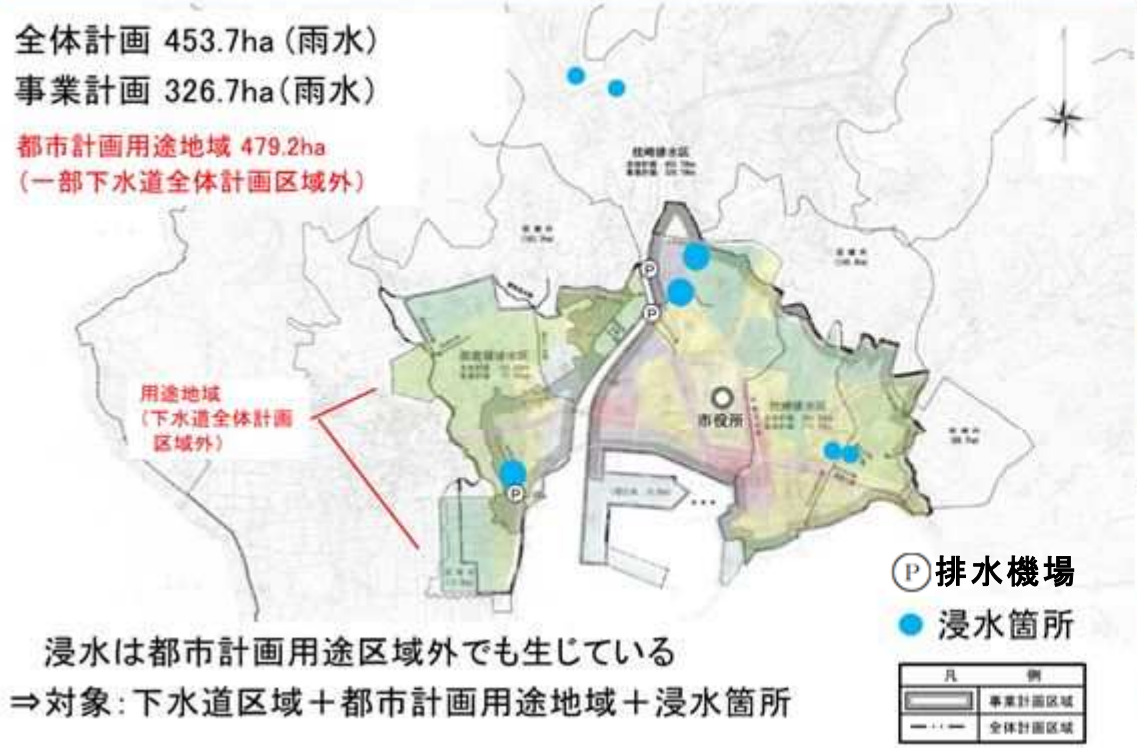
枕崎市雨水管理総合計画による浸水対策①【枕崎市】

◆事業の背景・目的

枕崎市は，計画外水位よりも地盤高が低い地区が多いことや，近年の異常気象に伴う異常降雨による床上，床下浸水等の甚大な浸水被害を受け，雨水対策が喫緊の課題である。

このため，雨水管理総合計画により中長期雨水浸水対策計画を策定し，浸水被害の解消を目的とする排水路や排水機場の整備を行うものである。

枕崎市の検討対象区域



※排水路整備や排水機場の更新を行うことで，浸水被害を低減し，市民の生命・財産を守る。そのためにも，中長期的な維持管理や施設の老朽化に迅速対応するものとする。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	内水対策	排水ポンプの機能更新 排水路の整備	枕崎市	■	■	■

花渡川水系流域治水プロジェクト

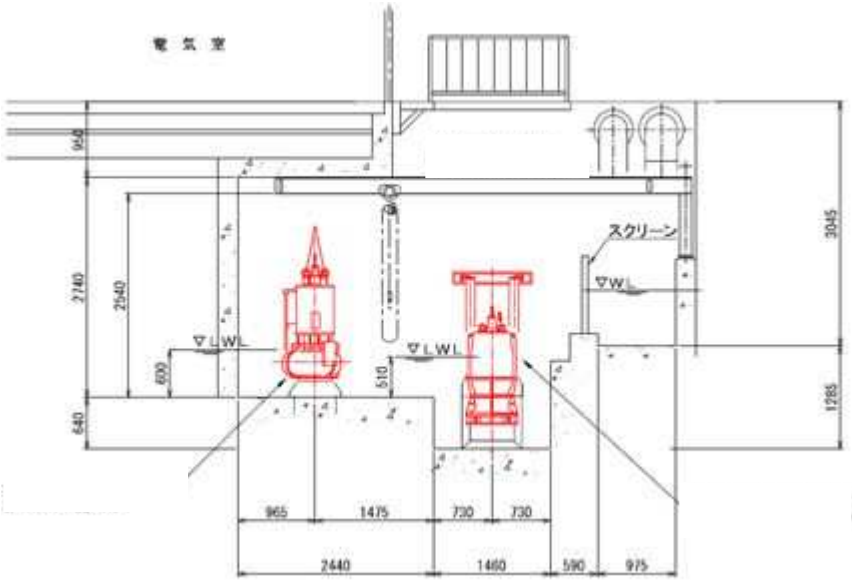
～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

枕崎市雨水管理総合計画による浸水対策②【枕崎市】

◆現在の状況･課題

浸水履歴のある田畑地区及び平田潟地区には内水対策として排水機場が３箇所設置済みである。住宅の浸水対策だけではなく，市道等の冠水対策にも寄与しており，今後も継続して維持管理をしていかなければならない。しかしながら，設置より約３０年が経過し，ポンプや発電機等が更新時期を迎えている。そのためにも雨水管理総合計画に基づく的確な更新整備を行うことで，安定した内水対策に貢献する。

機場名	吐出量	施設管理者
田畑排水機場	3.76m3/s	枕崎市
平田潟上流排水機場	0.65m3/s	
平田潟下流排水機場	1.80m3/s	



区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ･減らすための対策	内水対策	排水機場の維持管理 排水ポンプの機能更新	枕崎市	➡	➡	➡

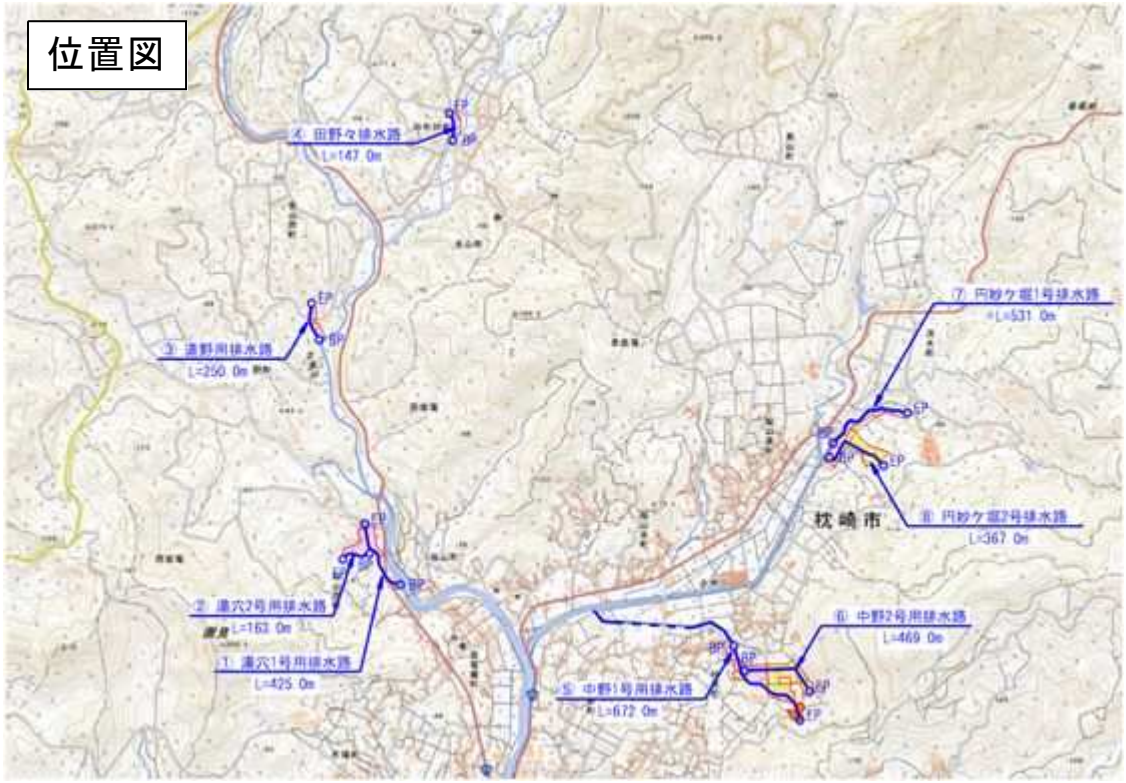
花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

用排水路の整備【鹿児島県，枕崎市】

〇排水機能が十分でない地域において用排水路の整備を行い，総合的な防災･減災対策を実施することにより農業生産の維持，農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全確保を図る。

位置図



活用イメージ図

排水施設等の活用

○ 農業用の用排水路や排水機場・樋門等は、市街地や集落の湛水も防止・軽減。

【施設の整備等】
○老朽施設改修、ポンプ増設、降雨前の排水操作等

※排水機能を向上させることにより，農用地だけでなく地域住民の生命や財産，公共施設を守る。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工　程		
				短　期	中　期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ･減らすための対策	内水対策	用排水路の整備	鹿児島県，枕崎市	→	→	

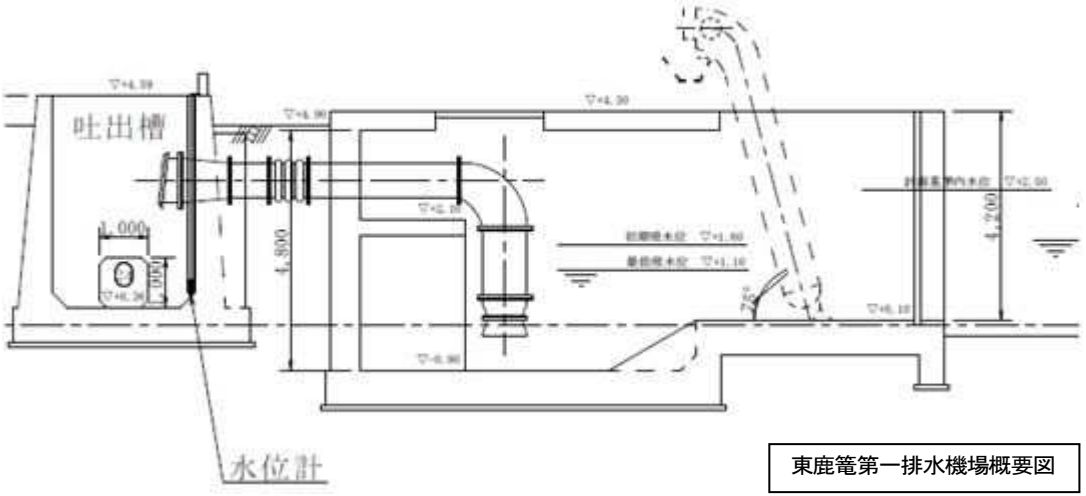
花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

排水機場（東鹿篭第一，東鹿篭第二）の維持管理【 枕崎市】

〇枕崎市には水田の湛水防除を目的とした排水機場が2箇所設置済み。
〇排水機場は，大雨の際に水田の湛水防除はもとより国道や市道等の冠水対策にも寄与している。
〇機能保全計画に基づく的確な更新整備を行うことで，安定した内水対策に貢献する。

機場名	東鹿篭第一	東鹿篭第二
諸元	水中ポンプ φ700×2基 2.0m3/s	水中ポンプ φ400×2基 0.7m3/s
施設管理	枕崎市	



東鹿篭第一排水機場概要図

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ 防ぐ・減らすための対策	内水対策	排水機場の維持管理	枕崎市	➡		

花渡川水系流域治水プロジェクト

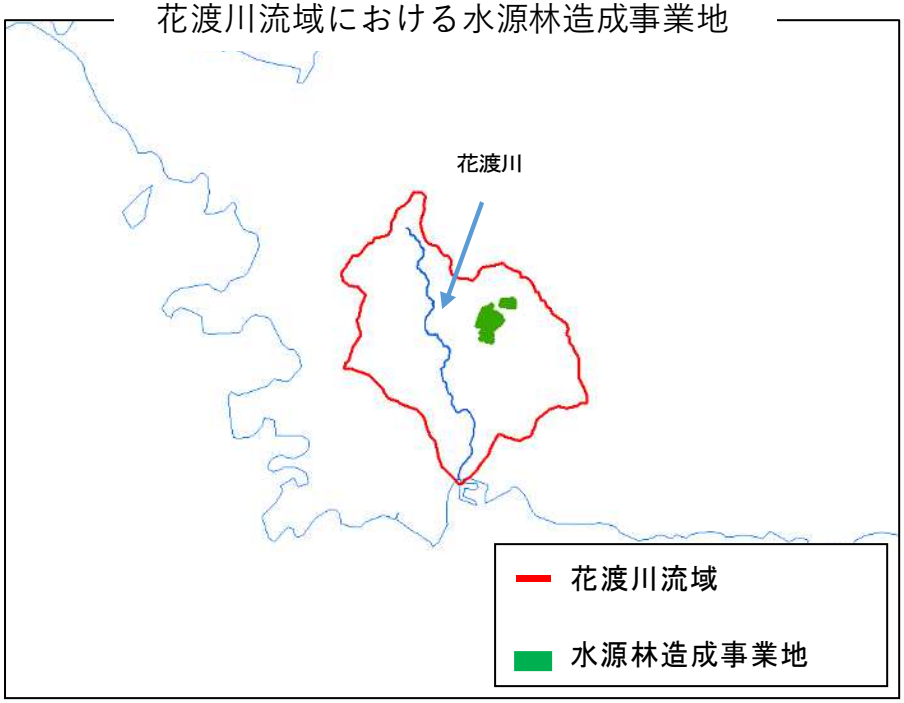
～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

森林整備による流出抑制対策【国立研究開発法人　森林研究・整備機構　森林整備センター】

■水源林造成事業による森林の整備・保全

・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
・花渡川流域における水源林造成事業地は、２箇所（森林面積 約５６ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。

花渡川流域における水源林造成事業地



水源林の整備

針広混交林

育成複層林

森林整備実施イメージ

間伐実施前

間伐実施後

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域の雨水貯留機能の向上	森林整備による流出抑制対策	森林研究・整備機構 鹿児島水源林整備事務所	➡		

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

森林整備・保全，治山施設整備の取組【鹿児島県・南さつま市・枕崎市　等】

〇人工造林（再造林）などの森林整備を行い，保水機能の維持を通じて，土砂や流木等の流出抑制を図る。
〇治山施設の整備による森林の復旧を行い，下流への土砂流出抑制を図る。

■氾濫をできるだけ防ぐ･減らすための対策
- ･森林整備による流出抑制対策
- ･治山施設整備による土砂流出抑制対策

【森林整備イメージ】

人工造林（再造林）

間　伐

【治山施設整備イメージ】

豪雨等に伴う山地災害

治山施設の整備（渓間工・山腹工）

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ･減らすための対策	森林の整備･保全 治山施設の整備	森林整備による流出抑制対策	県･市･森林組合 等	━━		
		治山施設整備による土砂流出抑制対策	鹿児島県	━━		

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

樋門等の点検・維持管理【枕崎市】

●樋門点検・維持管理

ゲリラ豪雨などによる急激な河川増水等に備えるため、日頃から樋門の点検などを実施し樋門の機能を維持する。

【点検状況】

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	支川等への逆流防止	樋門の点検・維持管理（市管理樋門）	枕崎市	➡		

花渡川水系流域治水プロジェクト

被害対象を減少させるための対策

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進（ソフト対策）【鹿児島県】

○地域の防災力を高める警戒避難体制の強化

・土砂災害警戒区域等の指定を進め，認知度向上を図る。
・リスク情報をより分かりやすく伝えることで地域住民の理解を深めるとともに、自助・共助を強力に支援することで、地域全体の防災力を向上
（「土砂災害警戒区域等マップ」，「河川砂防情報システム」として県ホームページに公表）

土砂災害警戒区域等の指定

土砂災害警戒区域　　：23，842箇所
土砂災害特別警戒区域：20，462箇所
（令和7年3月末時点）

土砂災害防災訓練

垂水市

志布志市

土砂災害に関する出前講座

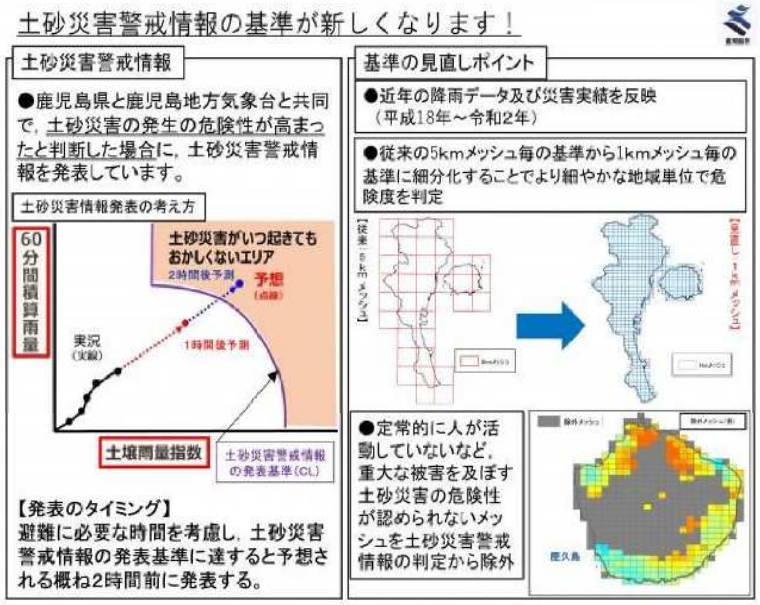
喜界町立早町小学校

南種子町立島間小学校

土砂災害警戒区域，雨量，土砂災害警戒情報などのリスク情報の提供

鹿児島県土砂災害警戒情報の発表基準の変更

○鹿児島県と鹿児島地方気象台は，土砂災害警戒情報の発表基準を見直し，令和４年１１月２４日から新たな基準により運用します。



鹿児島県河川砂防情報システム

鹿児島県土砂災害警戒区域等マップ

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害対象を減少させるための対策	地域の防災力を高める警戒避難体制の強化	いのちとくらしを守る土砂災害対策の推進	鹿児島県	➡	➡	➡

花渡川水系流域治水プロジェクト

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

ため池ハザードマップの公表【枕崎市】

ため池ハザードマップの公表

【目的】

大規模な地震や豪雨等で決壊した場合に人的被害の恐れがある防災重点農業用ため池について，被害想定区域や避難場所を表示したハザードマップのホームページへの掲載，学校等の公共施設に看板を設置済みであり，地域住民の自主防災意識の向上，ため池の防災対策や災害時の被害軽減に活用している。

【防災重点農業用ため池】

決壊した場合の浸水区域に家屋や公共施設が存在し、人的被害を与えるおそれのあるため池

農業用ため池（箇所）	うち防災重点農業用ため池（箇所）
2	1 （中島ため池）

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実	ため池ハザードマップの公表	枕崎市	➡		

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

自主防災組織による地域の自助・共助の推進【枕崎市】

○　地域の防災力を高める警戒避難体制の強化（地域の防災力向上）

実働する自主防災組織を目指して，自主防災訓練の実施を推進。⇒住民の自助・共助を強化することにより，地域全体の防災力，避難体制を向上。

- 県防災アドバイザーによる出前講座の活用
- 自主訓練等の準備・計画段階での市職員の派遣
- 地区防災計画の作成に向けて市からの助言等
- 地域防災リーダーの育成
- 市防災研修会による知識の習得と災害に対する備えの実践
- 児童生徒に対する防災教育の実施

枕崎市内の自主防災組織結成数等（令和5年4月1日時点）

- **結成公民館等　68公民館**
- **未結成公民館数　6公民館**
- **自主防災組織の組織率　97.61%**（市全世帯に対する結成地域の世帯割合）
- **花渡川流域にある自治公民館数　19公民館**

自主防災組織が，浸水・土砂災害を想定した自主訓練を定期的に実施できるよう，市職員の派遣・助言，県防災アドバイザーの派遣等を行いながら，水防災意識を高め，防災力と避難体制を強化していく。

そのほか，学校等から防災に関する授業や講話等の依頼があった場合は，出前講座というかたちで対応する（児童生徒に対する防災教育の実施→教委，小中学校との連携）。

また，市総合防災訓練では，河川流域の浸水害等を想定した避難訓練や建設業組合，電気業組合，医師会等，関係機関との連携を図った訓練を実施していく。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減，早期復旧・復興のための対策	防災情報，避難体制の検討・連携強化	地域住民における自主防災組織等の強化	枕崎市	→	→	→

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

総合防災マップの更新，情報伝達手段の多重化への取組み【枕崎市】

【近年の災害状況】

近年は，線状降水帯による長期の大雨や局地的なゲリラ豪雨など記録的な大雨により，急激な河川の増水や低い土地での浸水被害など，これまでなかったような被害が全国で起きている。今までは大丈夫だったという意識から，なかなか避難しようとしない，あるいは避難が遅れてしまうケースが想定される。

【取組状況等】

本市では，総合防災マップを令和元年度に作成しているが，その後も土砂災害警戒区域等の追加，市内河川の水位状況による警戒態勢や避難のタイミングなどを記載したものに更新する。また，防災情報を住民に確実に伝達し，早期避難を行うため戸別受信機の設置促進，防災・一般情報提供メールの登録促進を行うとともに，避難時は避難所の込み具合がわかるシステムを活用し，混雑を避け，スムーズな避難が行われるよう周知し利用者の拡大を図る。

○土地のリスク情報の充実・提供
総合防災マップの修正・更新
（令和６年度以降）

・土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の情報更新
・地区ごとのハザードマップ（拡大版）の作成（より見やすく，わかりやすく）
・市内河川の水位情報の周知と警戒態勢についての情報を新たに記載する。

○防災情報，避難体制の検討，連携強化
防災情報の伝達手段の多重化を図り活用を促進
・防災行政無線戸別受信機の設置促進（補助制度あり）
・防災・一般情報提供メールの登録促進（令和7年度目標：20%以上）
・避難所可視化システムの周知

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地リスク情報の充実 避難所情報の充実	総合防災マップの更新 避難所可視化システムの周知	枕崎市	■	■	■

花渡川水系流域治水プロジェクト

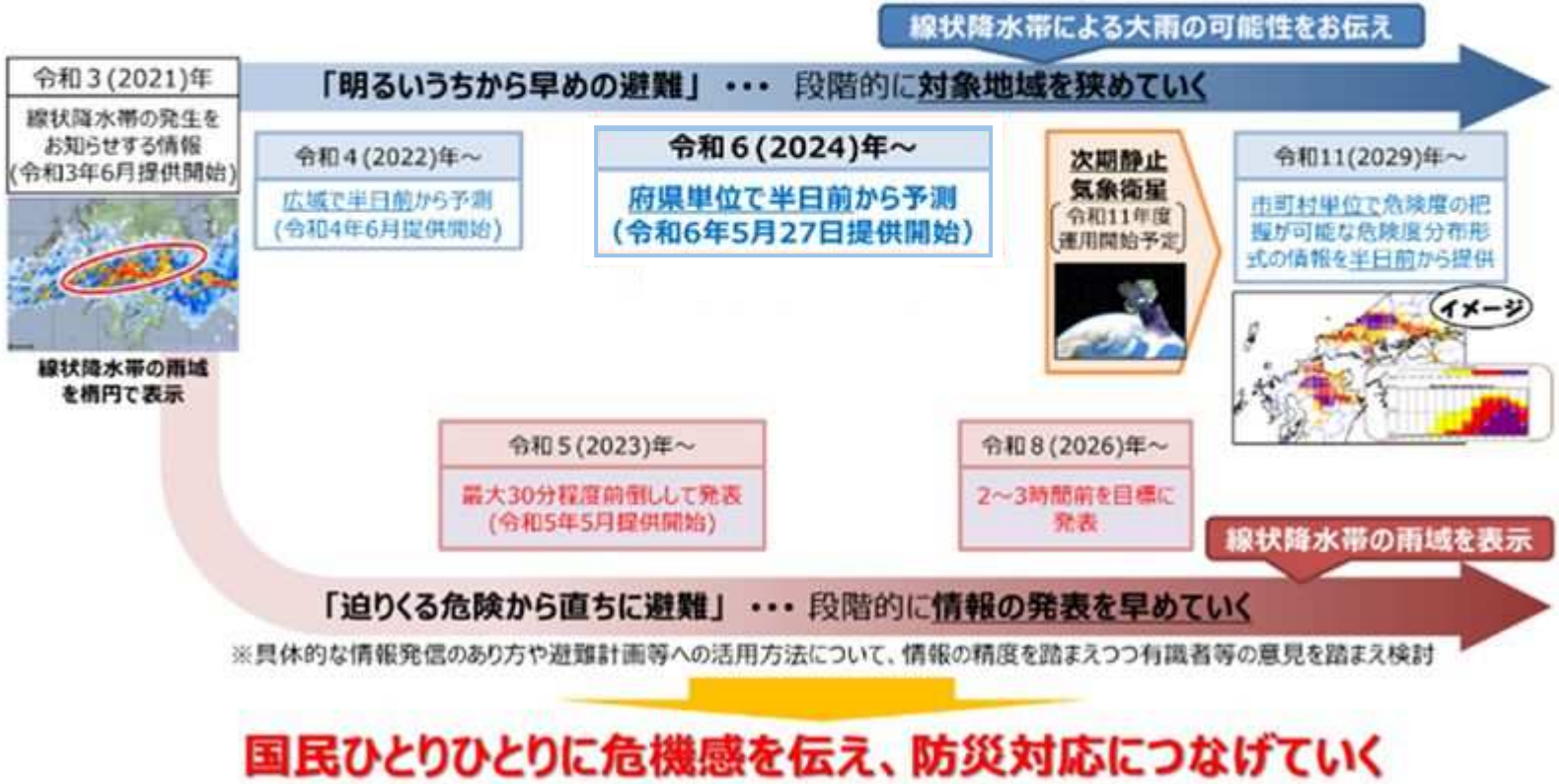
～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

気象庁HP利用促進、防災気象情報の改善【気象庁】

線状降水帯の予測精度向上に向けた取組（情報の改善）

観測の強化、予測の強化の取組の成果を順次反映することで、線状降水帯に関する情報の段階的な改善を実施。
- 令和４年６月、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけ（広域を対象）を開始。
- 令和５年５月、線状降水帯の発生をお知らせする情報（最大30分程度前倒しして発表）を開始。

令和６年５月から、半日程度前からの呼びかけについて、対象地域を府県単位に絞り込んでの運用を開始。



国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ

鹿児島県（奄美地方を除く）令和6年の実績
呼びかけを行った回数　4回
線状降水帯の発生　2回
適中率　50%
捕捉率　100%

呼びかけを行った4回に対して、3回で3時間降水量最大値が100ミリを超えた

↓

呼びかけを行った場合、線状降水帯が発生しなくても大雨となったことに留意

この呼びかけが行われたときには、大雨災害への心構えを一段高めていただくことが重要

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討、連携強化	気象庁HP利用促進 防災気象情報の改善	気象庁	■	■	

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

気象庁HP利用促進、防災気象情報の改善【気象庁】

警戒レベル相当情報の体系整理（情報の改善）

◎ **シンプルでわかりやすい情報体系・名称に整理** **※令和8年度出水期からの運用開始予定**

【洪水】：氾濫による社会的な影響が大きい河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫を対象とし、河川ごとの情報とする。これ以外の河川の外水氾濫については、内水氾濫と併せて市町村ごとに発表する【大雨浸水】に関する情報とする※1。

【土砂災害】：発表基準の考え方を統一し、災害発生の確度に応じて段階的に発表する情報とする。

【高潮】：潮位に加えて沿岸に打ち寄せる波の影響を考慮し、災害発生又は切迫までの猶予時間に応じ段階的に発表する情報とする。

		洪水に関する情報「洪水危険度」 氾濫による社会的影響大の河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫	大雨浸水に関する情報「大雨危険度」※1 内水氾濫及び左記以外の河川の外水氾濫	土砂災害に関する情報「土砂災害危険度」	高潮に関する情報「高潮危険度」
発表単位		河川ごと	基本的に市町村ごと	基本的に市町村ごと	沿岸ごと又は市町村ごと※2
警戒レベル相当情報※4	5相当	レベル5 氾濫特別警報※3	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報※3
	4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
	3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報

左記情報名称のポイントをシンプルに表現
→将来的に「警戒レベル」が社会に十分に浸透した際には、以下のようなシンプルな形の名称を検討することも一案。

		洪水危険度	大雨危険度	土砂危険度	高潮危険度
警戒レベル相当情報	5相当	洪水レベル5	大雨レベル5	土砂レベル5	高潮レベル5
	4相当	洪水レベル4	大雨レベル4	土砂レベル4	高潮レベル4
	3相当	洪水レベル3	大雨レベル3	土砂レベル3	高潮レベル3
	2	洪水レベル2	大雨レベル2	土砂レベル2	高潮レベル2

・ 情報名称の最終決定は、法制度や実際の情報の運用、伝え方なども踏まえ、気象庁・国土交通省が行う。

※1 警戒レベル相当情報への位置づけについては、関係機関で今後の課題として検討。

※2 発表単位をどうすべきかについては、情報利用者の視点も踏まえつつ、引き続き関係機関で検討。

※3 洪水予報河川または水位周知河川、高潮に関する情報の対象沿岸において氾濫の発生を確認した場合、その旨を氾濫特別警報または高潮特別警報の文章情報等に明記。

※4 警戒レベル相当情報とは、国・都道府県が発表する防災気象情報のうち、居住者等が自ら行動をとる際の判断に参考となる防災気象情報と５段階の警戒レベルとを関連付けるものである。警戒レベル相当情報が発表されたとしても必ずしも同時刻に同じレベルの避難情報が発令されるものでない。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討、連携強化	気象庁HP利用促進 防災気象情報の改善	気象庁	■	■	

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】

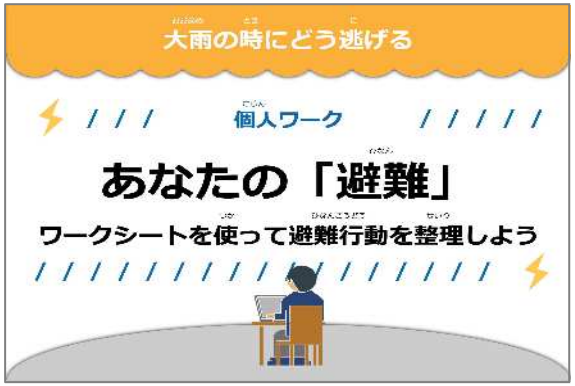
気象庁 eラーニング教材「大雨のときにどう逃げる」

- ○ 新しい生活様式でのオンライン学習に対応（教材は気象庁HPで公開）
- ○ マイ・タイムラインの事前学習に最適
- ○ 個人学習だけでなく、自治会や学校などでも活用できる教材
- ○ 難しく考えず、気楽に取り組むことが可能

アドレス
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jma-el/dounigeru.html

「自らの命は自らが守る」
基本の知識を動画で学ぶ

約17分



自分の避難行動を
ワークシートに整理

約30分

一歩
進んで

みんなで意見交換して
自分の避難を再確認

約30～40分

1時間の学習にピッタリ

Web会議でも実施できます

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁	■	■	

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

出前講座・防災学習の実施【気象庁】

防災教育支援ポータル
－１０分で防災－

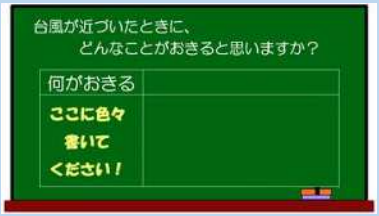
福岡管区気象台HP（教材はこちら）
https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/chosa/education/10mb.html

10分で防災

- ○ **短時間**で命を守る防災の学習
- ○ **子どもたち自身**で考え、話し合う機会をつくる
- ○ 災害を自分のこととして考える**「きっかけ」**となることを期待
- ○ 難しく考えず、**気楽に**取り組むことが可能
- ○ **４現象**（台風、大雨、地震・津波、火山）の教材を用意

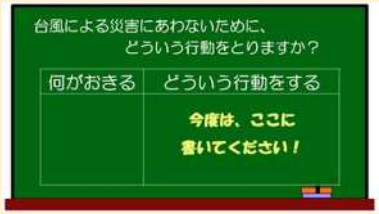
ステップ１　考える①

ワークシート



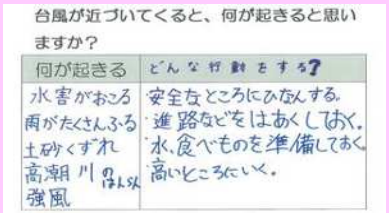
ステップ１　考える②

ワークシート



ステップ２　話し合う

他人の考えを聞いて、新たな「気づき」を生み出す


台風が近づいてくると、何が起きると思いますか？

何が起きる	どんな行動をする？
水害がおこる	安全なところにひなんする。
雨がたくさんふる	進路などをはかくしておく。
土砂くずれ	水、食べものを準備しておく。
高潮 川の水位	高いところにいく。
強風	

ステップ３
振り返りとまとめ

通学路のそばを流れる小川。用水路や道路のマンホール。
普段は何でもない場所が、突然の大雨で、命を落とす場所に変わることがあります。
「自分の身は自分で守る」という意識を身につけましょう。

起きる災害を考える → 自分の行動を考える → 行動を話し合う → 各班の意見をみんなで聞きましょう

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災学習の推進	出前講座・防災学習の実施	気象庁	■	■	

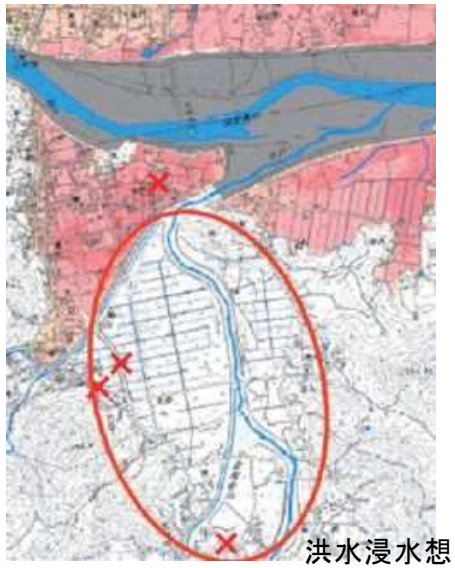
花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

洪水浸水想定区域図の作成・公表　【鹿児島県】

・ 現在の水防法では，洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川に限定されており，設定がない河川付近では水害リスクがないと誤解されがちな状況である。
・ 令和3年の水防法の改正に伴い，洪水浸水想定区域の設定が洪水予報河川や水位周知河川等だけではなく，住家等の防御対象のあるすべての河川に拡大された。
・ 新たに設定が可能となった河川について，洪水浸水想定区域図を作成・公表し，水害リスク情報空白域の解消を図る。

洪水浸水想定区域外で浸水被害があった事例



洪水浸水想定区域の設定がなく，水害リスクが示されていないエリア（水害リスク情報空白域）

浸水想定区域図（仙台河川国道事務所）
赤×印は被害発生位置

洪水浸水想定区域図のイメージ

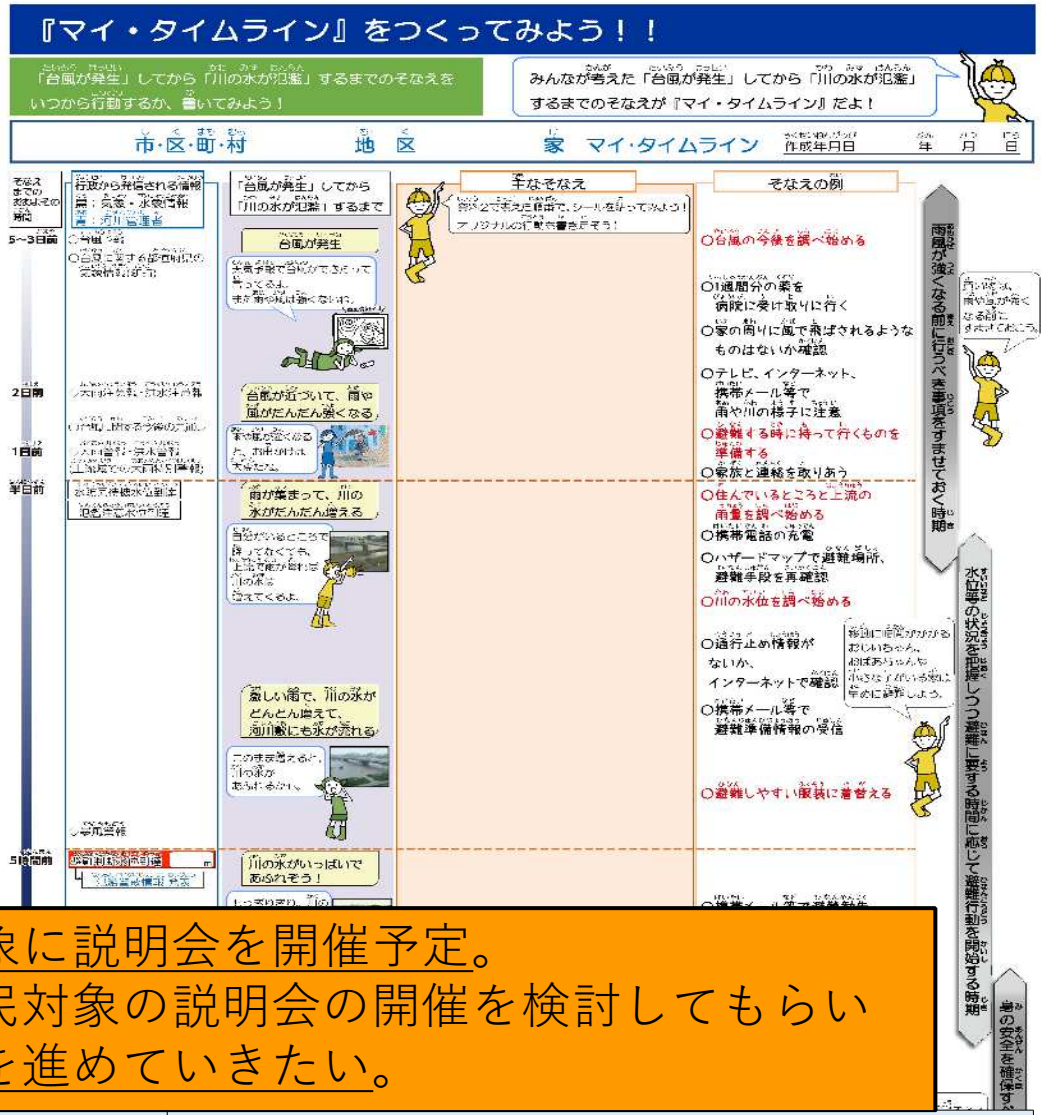
県HPで公表予定

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地のリスク情報の充実	洪水浸水想定区域図の作成・公表	鹿児島県	▶		

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

マイタイムラインの作成・支援　【鹿児島県，市，気象庁】



今後，県及び市町村の防災担当職員を対象に説明会を開催予定。
それを受けて，各市町村において地域住民対象の説明会の開催を検討してもらい住民自らが作成していけるよう取り組みを進めていきたい。

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	マイタイムラインの作成・支援	鹿児島県，市，気象庁	▶		

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

水位計・監視カメラ・雨量計の設置、防災情報の提供【鹿児島県，気象庁】

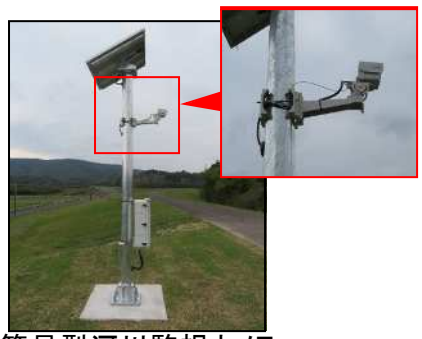
■ 各機関において、防災情報の提供を目的に、水位計・監視カメラ・雨量計を設置しているところである。
下図のように花渡川流域内の施設位置を示し、自分が住んでいる地区にはどのような観測機器があるか、そして、自分の身を守るための防災情報として何の情報が取得できるか、自らの自助・共助へ繋げるよう、防災意識の更なる高揚を図る。

■ また、洪水時における氾濫発生の可能性が高い箇所等の危険箇所や、地先レベルの水位・状況を把握することを目的に、危機管理型水位計・簡易型カメラも設置しており、今後、必要に応じて、追加設置を行っていく。

花渡川流域における
水位計・監視カメラ・雨量計の位置図

花渡川水系内に設置されている各施設数（R6.2末時点）

管理者	水位計		カメラ	雨量計
	水位局	危機管理型		
鹿児島県	1	1	1	1
気象庁	—	—	—	1
合計	1	1	1	2



簡易型河川監視カメラ

危機管理型水位計

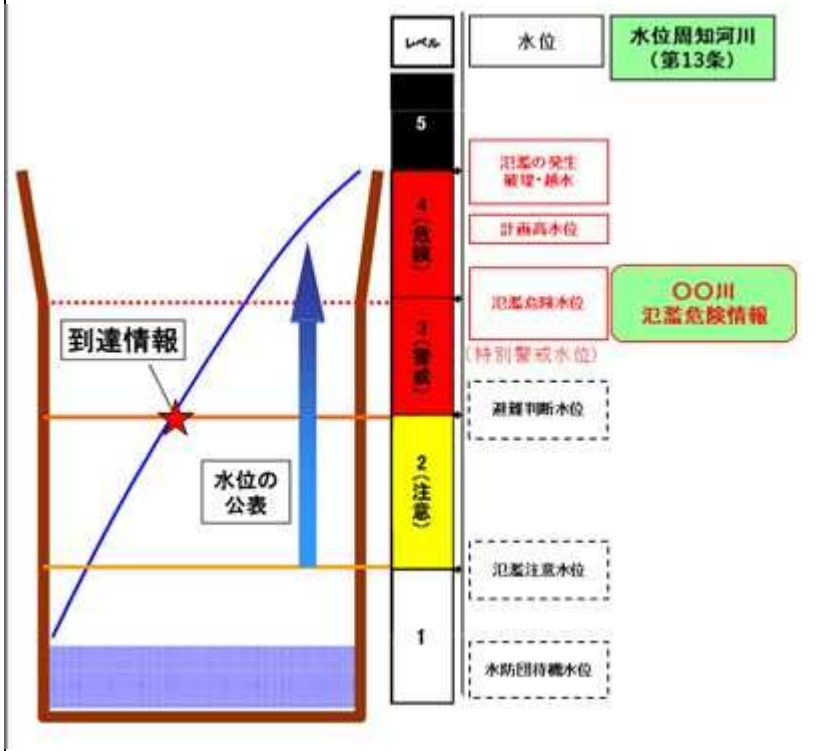
区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短 期	中 期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	水位計・監視カメラ・雨量計の設置、防災情報の提供	鹿児島県、気象庁	➡	➡	➡

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

水位周知の実施【鹿児島県】

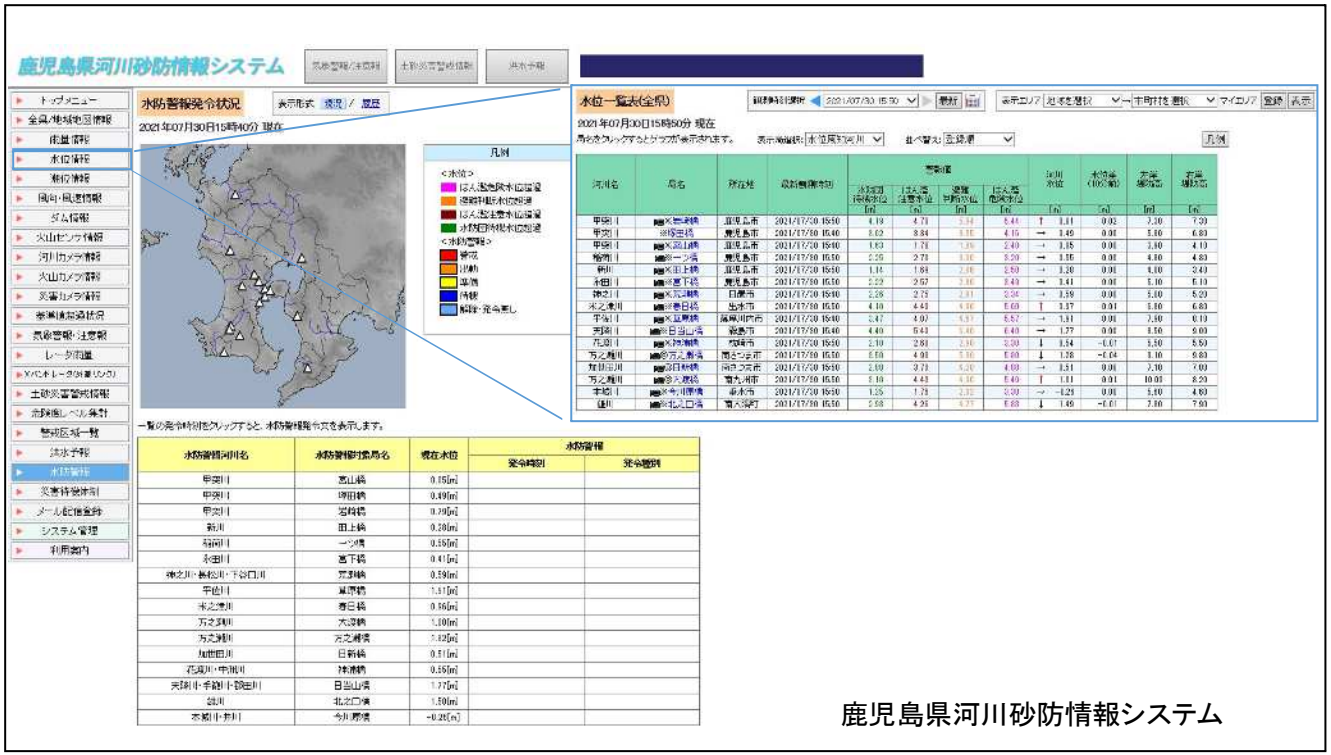
- 洪水により相当な損害を生じるおそれがある河川として，花渡川水系花渡川を水位周知河川に指定している。
- 河川の水位が，豪雨等により増水してはん濫危険水位に達したときは，当該河川の水位又は流量を水防管理者に通知する。
- 気象情報と同様に報道機関にも通知されるほか，鹿児島県河川砂防情報システムでも公表し，住民の避難行動に資する。



水位情報に基づく氾濫危険度レベル

河川名	基準地点	水防団待機水位（m）	氾濫注意水位（m）レベル２水位	避難判断水位（m）レベル３水位	氾濫危険水位（m）レベル４水位
花渡川	神浦橋	2.10	2.60	2.90	3.30

基準水位



鹿児島県河川砂防情報システム

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	水位周知の実施	鹿児島県	➡		

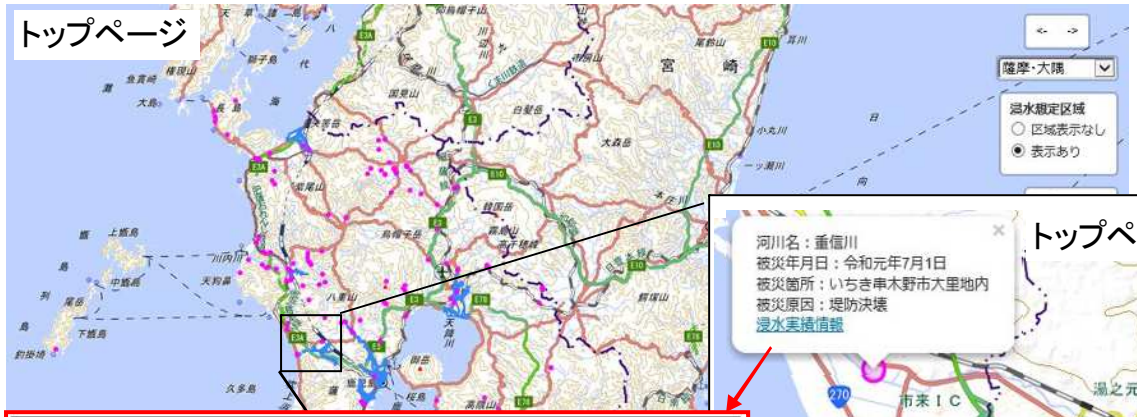
花渡川水系流域治水プロジェクト

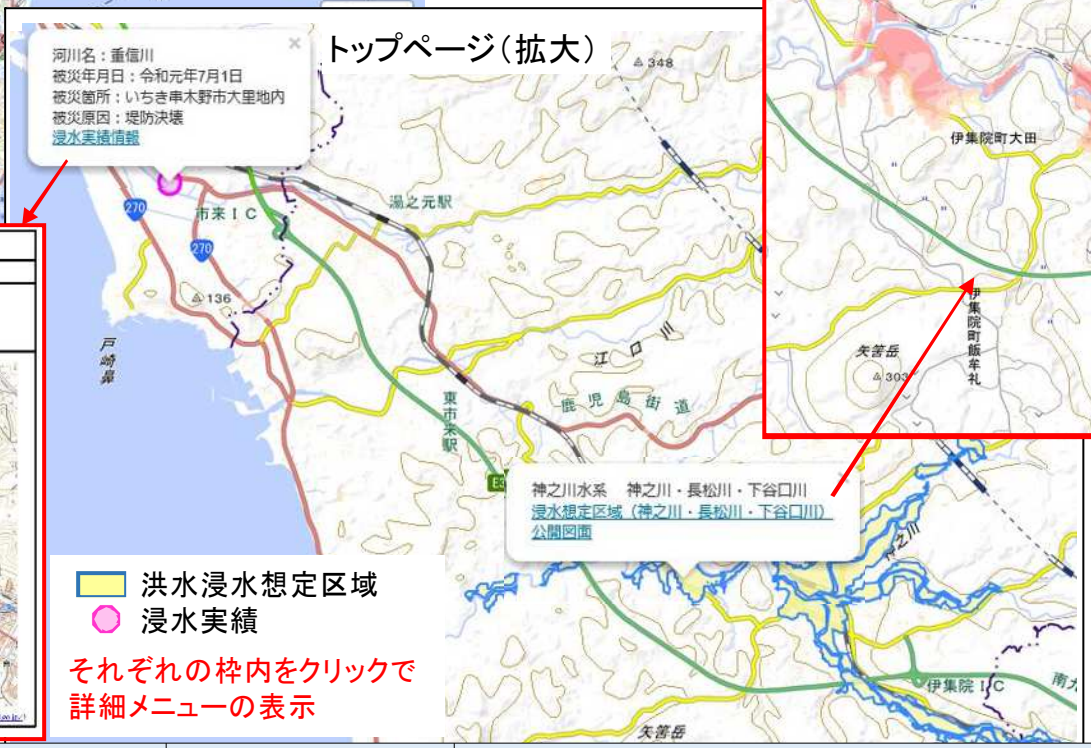
～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

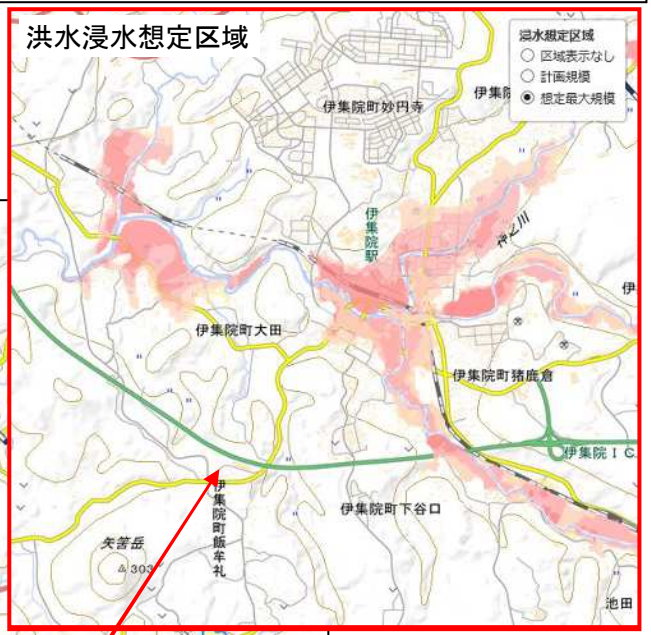
鹿児島県水害リスクマップの運用【鹿児島県】

・鹿児島県で把握・公表している水害リスク情報（洪水浸水想定区域や浸水実績）について，地図情報上に集約化し，わかりやすく県ホームページに公表（R3.2月末より運用）

http://www.kago-kengi-cals.jp/kasen/doui.html





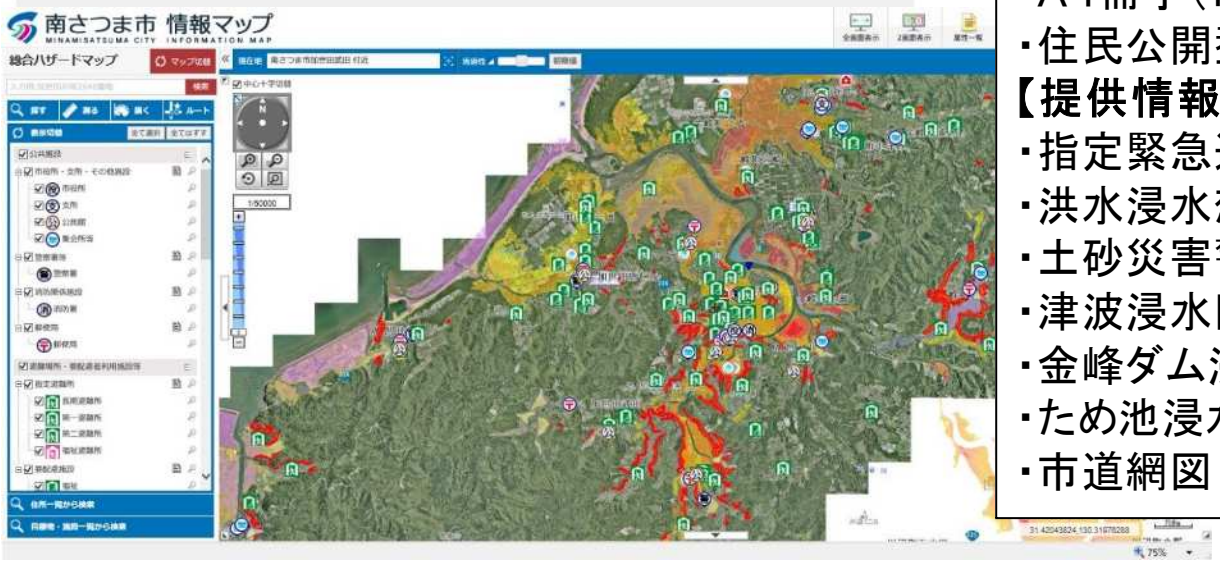


区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県水害リスクマップの運用	鹿児島県	➡		

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

防災ハザードマップの作成・公表【南さつま市】



防災ハザードマップの公表

【目的】

破堤による氾濫等の浸水情報、土砂災害警戒情報や地震による津波浸水情報等と住民避難情報を市民向け公開型GISで提供することで市民サービスの向上、防災意識の向上を図る。

【公表方法】

・A4冊子（市内全世帯配布）
・住民公開型GIS（パソコン、スマートフォン等）

【提供情報】

・指定緊急避難場所、指定避難所
・洪水浸水想定区域
・土砂災害警戒区域
・津波浸水区域
・金峰ダム浸水区域
・ため池浸水区域
・市道網図　等

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ハザードマップ関連	住民公開型GISによるハザードマップの公開	南さつま市	▶	▶	▶

花渡川水系流域治水プロジェクト

～いつか必ず来る大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

総合防災訓練の実施・防災研修会の開催【南さつま市】

防災訓練の実施

【目的】

南さつま市地域防災計画に基づき、防災関係機関と地域住民が一体となった訓練を実施し、発災時の応急対応、住民の防災意識の高揚を図る。

【訓練場所】

毎年度　９月開催　加世田地域、笠沙地域、大浦地域、坊津地域、金峰地域の隔年開催

【参加団体】

市、消防、消防団、地域住民、市内事業所、警察署、自衛隊、関係機関　等

防災研修会の実施

【目的】

防災意識の普及啓発と自主防災組織の育成･強化図る。毎年度１～２回開催

市内：82組織　組織率：89．3%

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工　程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧･復興のための対策	水防災意識の醸成	･総合防災訓練の実施、自主防災会等を対象とした研修会の開催	南さつま市	➡		

花渡川水系流域治水プロジェクト
～いつか必ずくる大規模出水に備え，水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

地域の防災力向上【鹿児島県の事例】

地域の防災リーダー育成

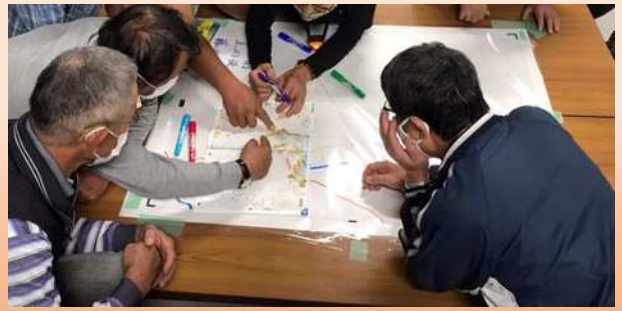
地域防災リーダー養成講座の様子

講義（自主防災組織）

AEDを使用した心肺蘇生法訓練

モデル地区による地区防災計画作成

ＤＩＧ（災害図上訓練）の様子



防災研修センターによる出前講座

その他の取組

- MBCﾗｼﾞｵ「防災ワンポイント」
- 防災･お天気フェア
- 防災啓発研修会　等

区分	対策内容	実施内容	事業主体	工程		
				短　期	中　期	中長期
被害の軽減、早期復旧･復興のための対策	地域の防災力向上	･防災研修，出前講座等	県	■	■	■